



■新年度を迎えて

福島地区電友会

会長 齊藤 政夫

光陰矢の如しと申しますが、新年度を迎えて早くも4ヶ月が経過しまして、暑い季節の到来となりましたが、会員の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと思っております。



昨年度の活動状況について顧みますと、文化講演会等、各種行事の開催、サークル活動の更なる活性化、そして新規会員拡大等の重点課題に取り組んでまいりましたが、概ね計画通り完了することが出来ました。

特に最重点課題の一つでもありました新規会員の拡大につきましては、16名もの大幅な会員の増加を図る事が出来ました。

これもひとえに会員の皆様のご協力とご支援の賜物と、厚く御礼申し上げます。

さて、平成29年度の活動計画につきましては、「心豊かに・健やかに・ますます輝く毎日を」を基本として、4月26日に総会及び観桜会を開催致しましたが、会員の皆様の出席率は、ここ数年の念願でありました「30%」をクリア致しまして、お陰様で久しぶりに盛況な総会及び観桜会となり、役員一同大変感激致しますと共に、この傾向が今後も継続される事を切望している所でございます。

総会に於いて会員の皆様から承認を頂きました、重点取り組みの1点目は、今後共永遠の課題となります電友会活動の更なる活性化であります。

活動の活性化のバロメーターとしては、次の3点あると考えております。

- ① 会員数の維持拡大。
- ② 各種会合（総会・文化講演会・新年会）等へ

の会員出席率のアップ。

- ③ サークル活動の更なる充実による活動への加入率のアップであります。

①の新規会員の拡大については、新規入会者への東北地方本部等からの商品券進呈は諸事情により、今年度で終了と想定される事から、プロジェクト体制を更に充実しまして取り組みを強化したいと考えております。

②の各種会合等への出席率のアップについては、現在実施している往復ハガキによる出欠確認に加えて、役員及び地域担当幹事等の皆様から会員の皆様への一声運動を展開していきたいと考えております。

③のサークル活動参加率のアップについては、サークルの種類及び活動内容の更なる充実が重要と考えますが、今年4月には関係者の努力により、「そばを楽しむ会」のサークルが発足して既に活動を開始しておりますと共に、今後はボウリングサークル等の立ち上げにいても検討中でありますので興味のある会員の皆様には、是非事務局への問い合わせをおちしております。

重点取り組みの2点目は、NTT事業への協力支援であります。今年もNTTにとって少しでも役立つ電友会を目指して、8月～10月を「不良設備情報提供」の強調月間と致しまして取り組んでまいりますので、背番号が設備系の会員の皆様には更なるご協力を頂ければと思っております。

最後になりますが、今年度も役員一丸となり活動の活性化に向けて頑張っておりますので、会員の皆様のご支援とご協力を切にお願いすると共に、益々のご健勝を祈念致しまして、簡単ではありますがご挨拶とさせていただきます。

■NTT支店長着任挨拶

NTT東日本福島支店
支店長 山口圭介

福島地区の電友会の皆様におかれましては、日頃より弊社事業に多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。私は7月1日に山内支店長の後任として着任いたしました山口圭介と申します。はじめに、私の自己紹介を簡単にさせていただきます。私は千葉県出身で、童謡の「証城寺の狸囃子」で知られている木更津市で育ちました。その小学校時代は、毎年恒例で当時の常磐ハワイアンセンタ(現在のスパリゾートハワイアンズ)へ行くことが家族の一大イベントであり、もしかしませんでしたら、その頃から福島とのご縁が始まっていたのかもしれない。加えて、家内の母方は北塩原村の出身であり、新婚当時は自転車を車に積み込んで五色沼でのサイクリングを楽しむなど、思い出の地である福島での仕事を非常に楽しみにしております。

私の経歴になりますが、NTTに入社して27年目(平成3年入社)となります。初期配属は東京の荒川支店であり、交換設備の保守を皮切りにしばらくは東京の支店で設備関連の業務に従事しておりました。その後、固定電話の世界に競争の波が押し寄せたことにより、他の通信キャリアとの相互接続・オープン化を推進する相互接続推進部の発足メンバーとして本社で勤務することになり、通算10年、相互接続関連業務に携わっておりました。転機としましては、次世代のビジネス創造を目指す持株会社新ビジネス推進室に配属された時でして、在宅オペレータビジネスの立ち上げや公教育でのICT化推進プロジェクトを担当し、ベンチャー企業等と一緒に新たな取り組みにチャレンジしてまいりました。中期経営ビジョンが公表されるとWi-Fiプラットフォームのビジョン具現化に向け、NTTブロードバンドプラットフォーム(NTTBP)の業務支援を行うこととなり、平成25年には正式



に持株会社からNTTBPへ転勤し、スマートフォンアプリの「Japan Connected-free Wi-Fi」の開発や利用エリアの拡大、認知向上に努めてまいりました。

この度ご縁があつて福島への着任となり7年ぶりのNTT東日本への復帰となりましたが、これまでの経験を活かし県内のみなさまの生活を一層豊かにする情報ネットワークやシステムを提供してまいりたいと思います。また、災害対策や復興支援にも尽力することで、福島県の発展に向けて元気に明るく楽しく取り組んで参る所存でありますので、貴会の引き続きのお力添えを宜しく願います。

最後になりますが、貴会の今後益々のご発展、並びに会員の皆様のご健康とご活躍を祈念申し上げます。着任の挨拶とさせていただきます。

■福島地区定期総会模様

4月25日(木)エクセルホテル福島恵比寿において、72名の会員出席のもと今年度の定期総会が開催されました。会に先立ち前年度逝去された6名のご冥福を祈る黙とうを全員で行った後、斉藤会長から、28年度計画の事業は順調に行われたこと、29年度も会員の協力により計画する事業が無事遂行されることを願います。との挨拶がありました。



斉藤会長挨拶

続いて、当日出席の長寿者11名(対象者25名)へ記念品の贈呈が行われました。



総会会場模様

荒木事務局次長から、総会資格審査結果について総会成立の報告があり、北見康夫さんを議長に選出し議事に入りました。



議長の北見康夫さん

事務局から、28年度の事業報告・決算報告及び会計監査報告が行われ全員の承認を受け、29年度の事業計画(案)・予算(案)についての提案も全員の承認を頂きました。



喜寿の皆さん

また、今年度は役員改選期であり候補者を募りましたが無い為、事務局(案)を提示、これについても全員の承認を頂き、新体制が決まりました。新たな役員は次の通りです。

- ・会長 齊藤 政夫
- ・副会長 横山 紘 末永 秀昭(新任)
- ・事務局長 高橋 敬一
- ・事務局次長 荒木 省一
- ・会計担当 鈴木 敏和(新任)
- ・常任幹事 羽田 英夫(新任)
- ・幹事 黒森 澄夫
- ・幹事 鈴木 高純(新任)
- ・幹事 渡辺 正春
- ・幹事 阿部 忠
- ・幹事 伊藤 重
- ・幹事 大戸 実(新任)
- ・幹事 小笠原生雄
- ・会計監査 太田 岩夫 松浦 宏光



米寿の皆さん

以上の方々です、今後2年間よろしくお願ひします。

なお、今期退任される副会長山田昌義さん、幹事小林耕喜さんには齊藤会長から記念品が贈呈されました。

両人とも、10年もの長い間電友会活動にご尽力いただきありがとうございました。



長期退任役員の皆さん

総会後は恒例の観桜会に移り、末永新副会長から開会宣言続いて総会に出席出来なかった、長寿者菅家政利さんに記念品を贈呈後、来賓のNTT福島支店石井企画総務部長はじめ7名の紹介を行い、それぞれ挨拶を頂きました。また、会員である高橋秀樹県議については公務のため出席できなく申し訳ないとのメッセージが届いており、司会者から代読されました。

長寿者を代表し、関戸武さんの音頭により乾杯を行い花宴に入りました。

今年も、各地の銘酒が並べられ(荒木省一さんが山形の地元で求めてきたものあり)抽選で各テーブルに配賦されました。

カラオケクラブの進行でカラオケタイムに入り、楽しい一時を過ごしました。

■第一回役員会兼地域担当幹事会開催模様

6月9日14時から「福島テルサ」において、第一回役員会兼地域担当幹事会議が、29名の参加により開催されました。会議では、今年度の具体的な活動について次のとおり確認されました。

1. サークル活動について

- ① 四月新たに「そばを楽しむ会(伊藤鉄次会長)」が20名により結成された。
- ② 新規サークルの立上を検討する。(「ボウリング」を検討中)
- ③ 地域間のサークル交流会を行う。(囲碁、ゴルフ、パークゴルフ、麻雀等)

2. 会員の集まる機会の創設について

- ① 「観桜会」 4月26日(水) 78名の参加により実施済

- ② 「文化講演会」「OB・OG 交流会(旧祝う会)」 10月23日(月) 同日開催とする

- ③ 「新年会」30年1月26日(木) 予定



齊藤会長挨拶

3. 会員同士が支え合う施策の充実を図る

○ 会報等の配布は地域担当幹事が行い、会員との「ふれあい」を大事にした取り組みを継続する。また、例年行っている「近況確認」に加え今年度は、「趣味」の状況聞き取り調査も併せて行う。

4. 組織の活性化施策について

○ 新規会員拡大について

「会員拡大プロジェクトチーム」を継続し、「お試し入会制度」をフルに活用した積極的な勧奨を継続して行う。



会場模様

5. NTTグループ各種施策に積極的に協力する。

- ① NTT福島支店から要請があった「福島ひまわり里親PT」に継続して参加する。

②NTT福島支店が主催する街中「クリーアップ活動」に参加する。

③販売情報・所外不良設備情報の提供を継続して行う。

今年度は、8月～10月の3か月間を「所外不良設備情報提供強調月間」と設定、特に所外系出身者の多大な協力をお願いする。

会議後、NTT東日本福島支店石井企画総務部長から「福島におけるNTT東日本の取り組みについて」と題し、震災後の通信インフラの復旧状況・地域でのCSR活動等のご講演を頂きました。



NTT 石井部長講演模様

引き続き会場を移動し、新年度スタートとなる顔合わせ懇親会を行い有意義な一日となりました。

■長寿者からの感想

□米寿のお祝い

■佐藤 英雄さん

米寿のお祝い有難うございます。私は昭和恐慌時代の生まれなので粗衣粗食で育ち、お陰様で日中戦争から太平洋戦争、敗戦と今日までの、ほぼ一世紀を健康で来られました。復員後、電気通信省に就職してから電電公社、NTTと3回人生の端境期を落伍もせず乗り越えてこられたのも仲



間のみなさんのお陰と心より感謝しているところです。昨年、運転免許証を返上し酒もほどほどにして、目下健康のためにトラック競技に転向して毎日トレーニングに余念がありません。1年に2回、マスターズ陸上競技に参加して、今年は400メートル85歳代クラスで東北記録などと夢みてます。分相応の達成度合い充実感を持つのも長命のコツかなと思いつつ「シルバー・アクティブ」を目指しています。本日は米寿のご褒美までも頂戴し我が戦友(パートナー)ともども感激の一日でした。

■菅野 信義さん

この度は、米寿のお祝いを頂き誠に有り難うございました。大変うれしく思っております。思い起こせば30代に右肺上葉切除の大手術を受けて「あと何年生かされるか？」など医師に問うたことを思い出していました。昨年10月に高熱を出し、肺炎と腰打撲により入院を余儀なくされました。その後は元気を取り戻し、今日に至っております。この3月からは週1回、2時間の通所リハビリに通っております。



■関戸 武さん

米寿のお祝いありがとうございました。昭和22年から40年間上司、同僚に恵まれ、誇りをもって勤める事が出来ました。感謝しております。退職後は好きな俳句に親しみ句集「枯櫂」「虞美人草」を発行しました。毎年NHK全国俳句大会に投句していつか壇上に上がることを夢見ています。自然の風景、人とのめぐり逢い「邂逅」を大切に楽しい生活を送りたいと思っております。また、皆様にお会い出来る日を楽しみにしております。



■高野 衛三郎さん

この度は、米寿のお祝いを頂き誠に有り難うございました。ここで入社以来最終となった職場



ですが、昭和61年2月に発足した福島ネットワークセンターでした。伝送無線部門と一緒に組織で、私達は市外設備の保守、巡回点検等を行い、良き思い出となりました。近年は家庭菜園で野菜作りをしています。

■石川 亨さん

今年の9月で87歳になります。幼い孫たちを子守りした日も遠い昔となり、今は妻と猫1匹との単調な毎日です。週に2回のデイサービスでは長寿の仲間達と過ごします。視力が衰えた自分に代わって妻の運転でドライブするのが楽しみです。こんな当たり前の生活こそが幸せと思い、一日一日を大切に過ごそうと思います。



■村山 惇樹さん

昭和61年退職して早や31年。この度、かつて同じ職場で様々な迷惑を懸けた斉藤会長から米寿の記念品を授与され、正に感激一入でした。「昔長老今余者」と比喻される超高齢者にとって、長生きして良かったと思われた一日でした。



■高橋 薫さん

米寿のお祝い誠に有り難うございました。喜寿のお祝いからあつという間に米寿のお祝い、月日の経つのも早いもので、光陰矢の如しとは・・・ですね。最近運動不足解消とストレス解消にと思ひまして、地域のグランドゴルフサークルに参加して地域の方々と交流を図っております。そうは申せ、短い訳ですから、有意義に有効に過ごしたいと考えております。



■半澤 幸一さん

この度は、米寿のお祝いに記念品をお届け頂き有り難う



ございました。最近の私ですが、足腰が弱り立位動作がにぶく杖を頼りに生活しております。さて身の回りの事です。去年の彼岸に次男夫妻が来宅の際、鉛筆で書いた母親の絵を見て帰り、その後鉛筆と画用紙を送ってくれたので、若き日の母親像(介護老人施設に入所中)の絵と、私の自画像を再会時に渡そうと待っている昨今です。今回のお祝いに感謝し、健康第一で過ごしたいと思っています。ありがとうございました。

□喜寿のお祝い

■小坂 義昭さん

先日、電友会さまより、喜寿祝いいいただき、ありがとうございました。無学の私は還暦いくらいしか知らずにいたので、さて、喜寿祝いとはと、虫眼鏡を伴い辞書を引いてみると喜を草書体で書くと「七十七」と書き、下の十七(正確には七七を七が重なっている)を合わせて七十七と読み、七十七歳となる年を長寿のお祝いをしようと思ひ日本が発祥したお祝い事だと、記してありました。この先、百歳まで傘寿、半寿、米寿、卒寿、白寿、百寿とお祝い事で準備されているようですが、これらのお祝い事の意味、由来等は漢字上から考えられているとも記してありました。果たしてあといくら祝うことができるかなと、土作の野菜作りに精出している昨今です。皆様も健康に留意され一つでも多くの祝い事をできるよう心から祈っております。



■横山 紘さん

あちこち痛んで来ましたが、元気に喜寿を迎える事が出来ました。電友会の皆様に感謝、故郷の友に感謝、そして健康に気を使ってくれた妻に感謝です。記念品は雨の日でも楽しく散策出来る様にと雨傘を頂きました。次はオリンピックが見られる様に、頑張りたいと思います。



■斎藤 光夫さん

この度は、喜寿の祝いに記念品(妻用のドライバー)を頂き誠に有り難うございました。日頃は地域の方々とのふれあいを大切に、老人会や健康セミナー、それに歩け歩け等、オモシロ、オカシク多忙な日々を過ごしております。最後に電友会の今後益々の発展をお祈りします。



■平塚 道也さん

このたびは喜寿のお祝いありがとうございます。平成7年にNTTを退職し共済会にお世話になり、退職後15年……
・気が付けば喜寿。電電公社に入社し、数次に亘る5ケ年計画を経てNTTへと大きな変動時代に働いた事が懐かしい思い出です。喜寿を迎えさすがに最近は”脳”と”体幹”の衰えを感じておりますが、新聞への投稿や投書欄を読みますと80代～90代の先輩方が健筆をふるわれているのを見ると、まだまだ老け込む訳には行かないと脳の活性化のためにも、好奇心をもって何事にも取り組みたいと思っております。現在は妻と趣味の野菜作りと若かりし頃にやれなかった”書道”を楽しんでおります。これからは、家族に感謝し、少しでも健康等命を保ち、生き生きと暮らして行きたいと思っております。



■菅家 政利さん

喜寿のお祝いを頂きまして誠にありがとうございました。もうそんな年齢になったのか？と自分でもビックリしております。今後はゴルフ、里山登山、カラオケなどを通じて、次の目標「米寿達成」を目指して頑張ります。電友会の益々のご発展を祈っております。



■阿部 正英さん

この度は、喜寿のお祝いを頂戴し誠に有り難うございました。男性の平均寿命をクリアしこの日を迎えられる事は家族の支えがあつての事と思っております。これからは、何事にも「感謝」の気持ちを忘れず余生を過ごして行きたいと思っております。



■松浦 恭雄さん

日本が発祥といわれる喜寿のお祝いを、今回頂戴し誠に有り難うございます。還暦過ぎたら早や喜寿とは年月のたつのが最近特に早く感じるようになり物忘れもひどく新聞の字の小さいのには愚痴てます。冬の運動不足解消に始めたスキーも20年になり毎月3日のシニア講習も受講し、シーズン中60日を目標に滑っております。来シーズンはシニア講習発足20周年に当たり記念イベントもあり、3月には予行演習で有志25人集まり飯坂1泊楽しんで来ました。今後は傘寿を目標に？健康に留意し一日一日大切に過ごしたいと思っております。



■渡辺 宏さん

この度は、お祝いを頂き有り難うございました。自分ではまだまだ若いつもりでいましたが喜寿を迎えてそんな歳になったかなと感じています。今は市内の老若男女仲間とバドミントンクラブをつくり、日々練習しながら健康維持に努めております。電友会の益々のご発展をお祈りします。



■佐藤 忠雄さん

後期高齢者の仲間入り。普段の生活にも体力低下を感じ気力でも負けそうになる葛藤が常々思うようになり、目的や意味することがあれば、たとえ苦しいことでも我慢するのが薄らいで行くようにならない。過去は過ぎ去ったことであり、現状の健

康体に感謝しつつ、現在を良く見極め、自然体を大切に精一杯生きることを心掛けたと思っています。俗に言われている「70、80は鼻垂小僧、男盛りは100から」と。人間は本来、100歳以上の天寿を与えられているのに、ムダ遣いして早く死んでしまうのだという4千年前の平均寿命は18歳、百年前にやっと34、36になった。現在日本人の平均寿命は男80、女87歳「白髪は栄の冠なり」とまではいかなくとも、長く美しく美しく歳をとるのはすべての人の願望だろう。

■横沢 浩さん

このたびは、喜寿のお祝いを届けて頂き、有り難うございました。まだまだ先のことかと思っておりましたが、いつのまにかこの時が来てしまいました。在職中のさまざまな思い出が頭を過ぎります。が老いとともに薄れていくこの頃です。これからは少しばかりのボランティア活動(県点字図書館)と日々感動を求めて過ごしたいと願っています。



■高橋 敏男さん

この度は、喜寿のお祝いを頂き誠に有り難うございました。そんな年齢に達したのかと、驚きとため息、何よりも健康で、楽しく同僚達とここまでこれた事、みんなに感謝です。思い出はたくさんあります。地元でのボランティア活動、町会(2つの町会)の世話役と子供のあいさつ運動、見守り隊、リサイクル回収、清掃関係とマイペースで毎日を楽しく働き廻っています。皆様のご健勝と益々の電友会発展をお祈りいたします。



■菊田 皓造さん

この度は、「喜寿の祝い」役員の方にお届け頂き恐縮しております。「自然との語らい」を生きがいとして、カメラを持って山歩きを続けていますが後期



高齢者の仲間入りしたとたんに、無理出来ない体になってしまったと、つくづく感じているところです。会員各位のご健勝と電友会の益々の発展を祈念し御礼の挨拶とさせていただきます。

■根本 勝四郎さん

この度は、お忙しいところ喜寿の記念品を届けていただきまして誠にありがとうございます。日課として家庭菜園での雑草取りと害虫の駆除を行って収穫の楽しみを味わっています。最近では脳の老化防止にと時間を忘れて「数独」にハマっています。鉛筆と消しゴムを手に数字とニラメッコして、解けた時には喜びと何ともいえない達成感を得ています。最後に電友会の益々のご発展をお祈りいたします。



■井上 健一さん

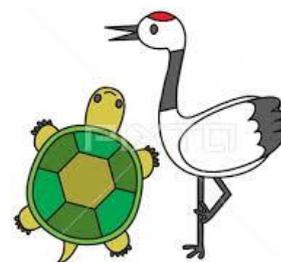
喜寿のお祝い有り難うございます。私は今、山登りをしております。昨年は男体山、岩木山、南蔵王縦走など。今年は谷川岳、安達太良山縦走、月山、鳥海山を予定しています。何もせずに過ぎていく時間がもったいないので、これからも健康に気を付けながら「遊びが仕事」と心得て、好きな事を精一杯楽しもうと思っています。



《その他の長寿の皆さん》

[米寿] 小嶋 正男さん

[喜寿] 横山 五郎さん 渡部 道彦さん



■ご冥福をお祈りします

○豊田 行雄 様

(平成29年1月4日 享年87歳)

○小笠原 俊一 様

(平成29年7月2日 享年88歳)



■新入会員紹介

■三浦 慎也さん

昭和35年、三春電報電話局に採用され、福島支店お客さまサービス部を最後に、平成13年3月に退職しました。退職後は勝手気ままに、ノンビリと過ごして来たが、何の刺激もない日々となり、このままではいけないと思うようになりました。先輩会員のパワーに触れ、交流していく中から、いろんなことを学んでいきたいと思っています。宜しくお願い致します。



■渡部 司さん

月日は早いもので退職してから、足掛け9年目を迎えます。その間思ってもいなかった大きな出来事は、あの東日本大震災と同じ月に息子との永久の別れでした。嫁さんと子供を残して逝ってしまいました。それからは、私達夫婦は、何の気力もなく悲しくつらい生活を送っ



て居りました。ほとんど毎日のように病院まで通い続け2年間で約3万キロでした。ある日、従妹から思いがけない話を聞き息子が「両親が悲しんでいると辛いからあんまり悲しまないで」と話してくれたことを覚えています。それから、気を取り戻し今の自分には何ができるのだろうと思い、ボランティア活動を行うことにしました。ボランティア活動をすることによって、いろいろな人生経験を持った方々とお話ができ、時々思い出すことはありますが、元気に過ごしております。

■鈴木 正廣さん

再加入させていただき出戻りです。5年前、大震災後の放射能に対する家族の不安感と不信感が高まるばかりのため、ペットも一緒に仙台へ自主避難していましたが、異常に高かった自宅前の側溝除染も済んだことから昨年暮れに戻ったところです。あらためて宜しくお願いします。避難先では宮城県の森林インストラクタ養成講座で12ヶ月間植林、間伐、刈払いなど直接森林に関するもののほかに野生動物の生息域、鳥、昆虫、キノコなど森林に関する講座と実技終了翌年からはメセナ活動としての「企業の森づくり」の実働部隊として汗を流してきました。機会があれば福島の森づくりにも参加したいと思っています。退職の翌年から山歩きを始めました。主に低山の日帰りですが去年は谷川岳まで足を伸ばしてきました。頭の退化を防ぐため試験合格していた宅地建物取引主任の実務講習を3泊して受けてみましたが久しぶりの東京は人出と高層ビル群に押し潰されそうであり、適応能力の退化をあらためて自覚することになりました。福島ではモミジとバラの庭仕事、日曜大工、薪割りなどで汗を流しております。



■阿部 義則さん

ゴルフ好きな先輩方と一緒にゴルフをしたいと思い、電友会に入会しました。ご指導・ご鞭撻よろしくお願い致します。



■我妻 均さん

この度、しのぶゴルフ倶楽部の皆様とのご縁により、入会しました「あがつま」と申します。私は、平成21年3月31日に定年退職し、引き続き契約社員として平成26年3月31日まで勤務、その後昨年の12月まで NTT-HS の契約社員として働いていました。現在は孫の相手をして、ゴルフにボウリングにとそれなりに忙しい日々を送っています。会員の皆様には何かとお世話になりますが、よろしくお願い致します。



■遊佐 哲夫さん

昭和47年4月福島電報電話局に採用となり、44年9カ月無事務め終えました。線路設備の全般にわたる業務に携わり大変有意義な会社人生でした。新入会にあたり諸先輩方々に、また、お世話になる事と思えます。今後共ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



■松本 隆夫さん

昨年7月に電友会役員の方からのお誘いで「お試し会員」に入会し今年の4月から正会員としてお世話になっております。昭和47年4月三春電報電話局に入社し昨年(平成28年)12月31日もちまして、NTTインフラネット(株)福島支店を退職しました。44年9カ月にわたり勤務できたのは諸先輩、同僚からの温かいご指導とご



支援を賜ったお陰と感謝しております。退職時期を決意したのは、嫁いだ娘が昨年7月に出産し今年の2月から会社復帰するため、孫もりを頼まれ、妻も一人では不安である事から、これも親としての役割(自分の子育ても両親に頼んでお願いした)と妻と相談し退職、孫もりを(女の子、もうすぐ1歳)毎週、月曜から土曜まで頑張っています。今年1月新年会と4月総会・観桜会に参加させて頂き懐かしい諸先輩と再会し昔話で盛り上がり楽しい日々を過ごすことができました。これからも電友会活動の活性化に向け各種行事に参加していきますので、皆様方には大変お世話様になりますが、よろしくお願い致します。

■阿部 孝一さん

初めまして、私は電々公社建築部門に入社しまして、民営化によりNTTファシリティーズに移り33年間勤務して52歳の時に早期退職しました。在職中には、NTTの総務部門の人や設備企画様の人に大変お世話になりました。退職後は、建築士所持により年に1~2ヶ月の工事現場監督などバイト収入と年金で現在に至っています。毎日の健康維持のため、旅行・スポーツジム・ゴルフ・酒場等との付き合い。又、家の除草との戦いで過ごしています。この度、電友会様よりお誘いが有りまして入会することになりました。元気な内は、電友会行事に参加していきますので、これからよろしくお願い致します。



■貝沼 博之さん

今年3月、NTT東日本-東北福島支店設備部を最後に退職しました、貝沼博之と申します。この度、先輩の勧めもあり電友会に入会いたしました。会津に年老いた両親が居ることもあり、当分の間は、会津と福島を行ったり来たりの生活になると思いますが、電友会の催し物・OB の交流会などには可能な限り参加したいと考えています。これ



から何かとお世話になるとと思いますが、在職中同様の指導宜しく願いいたします。

■後藤 一志さん

福島地区電友会会員の皆様、新会員の後藤と申します。本年4月よりテレウェル東日本(株)福島支店に勤務しております。出身は宮城県栗原市で、現在は仙台市泉区在住です。約2時間をかけて通勤しておりますが、週末にはさすがに疲れが出てくる年になりました。昭和48年4月に電電公社採用(神奈川通信部管内溝口電報電話局)になり、早44年を経過しました。この間、川崎市・仙台市・秋田市、東京都など転々と勤務しましたが、3年前に14年ぶりにやっと地元仙台勤務となりました。3月にNTTファイナンス(株)を退職しましたが、縁があり現職に赴くことになりました。残された数年間は現職を全うし、いよいよ「サンデー毎日」が待っていると思うと何か複雑な気持ちになります。楽しみは、孫の成長をいつまでも見届けられるかでしょうか。福島勤務は初めてですし、人脈もありませんが会員皆様との交流を大切に有意義な福島勤務をしたいと思っております。公私共にご指導方宜しく願い申し上げます。



■廣瀬 典夫さん

昭和47年4月に青森県八戸電報電話局に採用になり、平成26年12月にNTTインフラネット福島支店を退職しました。平成27年3月まで在職できたのですが、IgG4関連疾患という難病を患い少し前に退職しました。現在は、健康状態もほぼ良くなり、あちこち出歩いて楽しく過ごしております。この度諸先輩方からの勧めもあり、今回入会する運びとなりました。今後とも、なにとぞよろしくお願い致します。



■横山 裕次さん

「献上桃の郷こおり」に住んでいます横山裕次です。NTTを卒業して早四年が過ぎました。老いて、特に人恋しくてと云うわけでもありませんが、今回なぜか仲間に加えて頂く事となりました。無口で愛想も良くありませんが宜しく願いします。



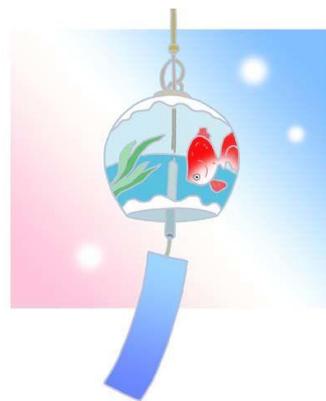
■鈴木 敏和さん

昭和45年ダイヤル自動化に伴い郡山電報電話局に試験課に採用され、その後は福島山下、田島、会津若松、また郡山、福島大町、花園、福島LMC、石川と勤務してきました。故障受付から交換機の保守、尾瀬の夏山臨時公衆電話の設置と保守、伝送無線の保守、お客様部門の企画からLMCでの所外業務、又お客様窓口対応と色々な業務を経験し、H28年3月末でNTT-ME福島事業所を65歳満期で退職しました。今年より電友会の常任幹事(会計担当)として参加しています。まだまだ未熟者ですが会の運営が停滞なく活動ができるよう一生懸命頑張っていきたいと思っています。今後ともご協力ご鞭撻をよろしく願いします。



◆そのほかの新会員

渡辺 哲哉さん 蒲倉 義夫さん



★事務局だより★

■NTT東日本人事 福島支店関係(顧問)

[新任]

福島支店長 山口 圭介 (H29.7.1 付)
・総務人事部担当部長(NTTブロードバンドプ
ラットホーム株式会社)から

[退任]

福島支店長 山内 功 辞職 (H29.6.30 付)
・NTTタウンページ株式会社 取締役営業本
部 副本部長へ

■NTT東日本からの長寿祝い金の変更につい て(勤続20年以上の退職者対象)

従来は、喜寿・米寿・白寿の対象者に3万円～
10万円の現金をお祝いとして頂いておりました
が、今年4月1日から長寿の種類に関係なく「カタ
ログギフト電報(1万円相当)+花(5千円相当)」に変
更になりました。

また、該当年齢は満年齢でNTT東日本が把握
し贈呈することになります。

なお、問合せ等はNTT東日本福島支店総務
担当(024-531-7481)にお願いします。

■「福島ひまわり里親プロジェクト」参加について

NTT福島支店の地域活動への協力として、昨
年参加しました「福島ひまわり里親プロジェクト」
に、今年も参加することになり、福島地区で31名
の皆さんから73口(1口20粒)の協力を頂きました。
なお、今年度は管内各地区の皆さんにも、本
プロジェクトへの協力の輪が広がりました。

■「所外不良設備情報提供強化月間」について

定期総会で決議しました標記月間を、「8月1日
～10月31日の3カ月間」と設定しますので、皆さん
1件でも多くの提供をお願いします。
特に、所外系出身者の提供を期待しています。

■テルウェル東日本(株)福島支店の事務所移転 について

[新事務所]

〒960-8503
福島市山下町 5-10 NTT山下ビル2F
Tel 024-573-2115
Fax 024-563-4241

■平成29年度年会費未納の方々へ

会員の皆様方をお願いしております電友会の
年会費を、まだ納められていない方が数十名おら
れます。今回「払込取扱票」を同封しておりますの
で速やかな振込みをお願い致します。

なお、行き違いが御座いました際には、ご容赦
お願い申し上げます。

(本件問合せ先)

電友会事務局 会計担当 TEL:531-7421

